

TGM

生産工程を最適化

オンラインデモで臨場感

TGM(東京都千代田区、弘中崇社長、03・6261・1260)

は、イタリア・フォーレル社の縦型自動エッジング機「EM」シリーズ、縦型自動糸面取り機「EG」シリーズを販売している。「EM」シリーズは、裏側から吸盤でガラスを保持するクランプ方式の採用で、Low-E膜表面に触れない形で加工ができる。合わせガラス、強化ガラス製造の前処理用としても納入実績が増えている。「EG」シリーズは二つの研磨ヘッドが独立して稼働するため、2枚の板ガラスを同時に加工。フォーレル社以外の複層ラインなどにも後付け可能で、生産工程で高効率、高品質を実現し、生産工程の最適化に貢献する。フォーレル社はコロナ禍で新しい情報発信を開始。オンライン上のライブデモセッションで加工実演や設備詳細を紹介し、参加者の質問にも答えることで、現地で視察しているような臨場感で設備を見ることができている。TGMがデモの受け付けやアレンジ、デモ中の通訳をしている。

「EM」シリーズは、1台で糸面取り加工、ダイヤモンドホイール加工、ポリッシングつや出し加工が可能。加工モードはセルフラッピングモード、シェイプモードの2パターン。

通常は切断したガラスを糸面取り加工、つや出し加工をするだけなの

で、ガラス切断の精度が加工後の精度に大きく影響する。セルフラッピングモードは切断したガラスの長さ、高さ、厚みを自動的に測定することができる。前工程によってガラスサイズが異なる場合は指定したサイズに加工し直すので、精度が高い加工ができる。

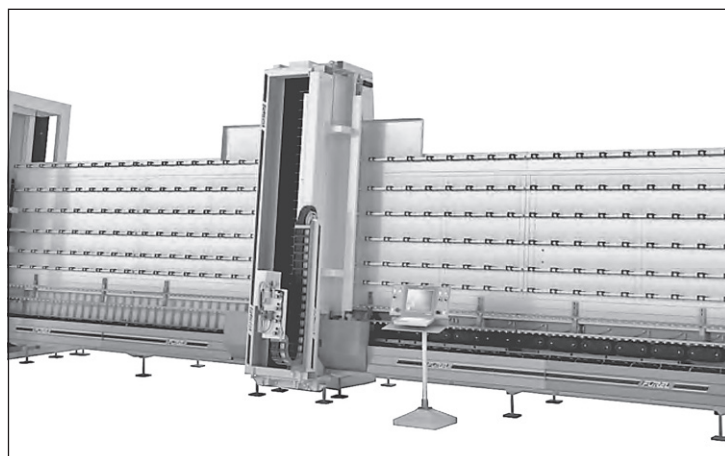
オペレーターによるプログラム設定が不要。特殊サーベイセンサー(特許)によって、糸面取り加工はガラス厚の中心を常に検出し、ホイールのZ軸方向を制御しながら加工するので、左右の糸面幅のばらつきがない。板ずれした合わせガラスでも、指定した均一のサ

イズに加工し直す。シェイプモードは40通りにパターン化した図形の中から選択する。希望の寸法を入力すると、選択した形状と入力寸法通りにガラスを加工する。「EM」シリーズはサ

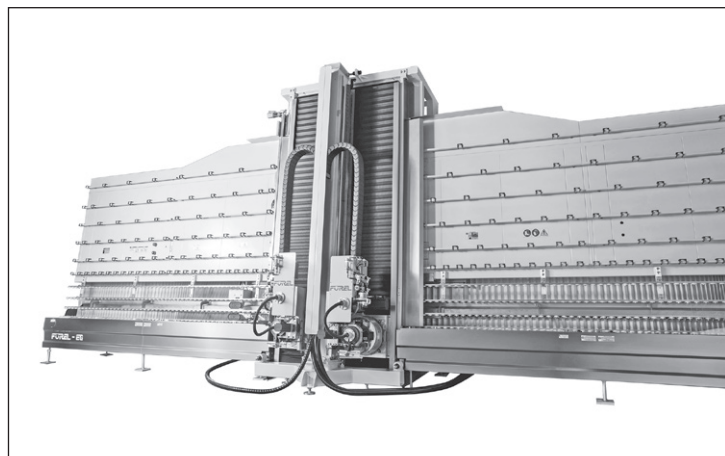
イズの違いによって、「EM4020」「EM4025」「EM5028」「EM6033」「EM9033」の5種。ガラスサイズ300×180〜9000×3000ミを加工できる。2ヘッドで生産性向上

と、板の寸法と厚みを自動的に測定。追加情報を入力しなくても、全て自動で切断面を加工する。装備する二つの研磨ヘッドは独立して稼働するため、各ヘッドが1枚の板ガラスの異なる切断面を同時に加工できる。2枚の板ガラスを同時に加工できるため、加工効率が非常に高く、生産性が大幅に向上する。生産工程の最適化に貢献する。耐久力がある単一ブロック構造を採用。フレ

ムは複数を組み合わせるのではなく、単一の長いフレーム材で構成しているため、加工精度と堅牢(けんろう)性が飛躍的に向上し、機械の長寿命化を実現する。「EG」シリーズはサイズの違いで、「EG4020」「EG4025」「EG5028」「EG6033」の4種がある。ガラスサイズ300×180〜6000×3300ミの加工ができる。



縦型自動エッジング機「EM」シリーズ



縦型自動糸面取り機「EG」シリーズは1枚の板ガラスの異なる切断面を同時に加工